

第3滑走路絶対反対!

国交省が新滑走路案提示へ

成田市商工会議所を中心に設立された「成田第3滑走路実現する会」を怒りを込めて弾劾します。

4月30日に開かれた設立総会では、「結果として騒音に苦しむ人もいる」（池内富男会長）と認めながら、「羽田の増強で成田が置いてけぼりになる」と地元利権屋の危機感をあらわにしています。金もうけのために住民に犠牲を押しつけて、成田空港の延命を図ろうとする愚策です。

この動きに合わせ、様々な形で第3滑走路が喧伝されています。

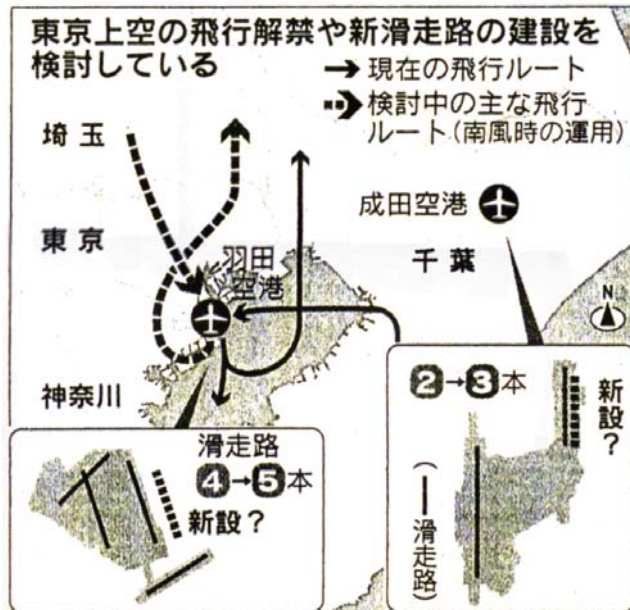
5月17日付けの新聞は、首都圏の空港拡大について、国土交通省が「成田で3本目、羽田で5本目の滑走路」案（右図参照）を提示し、周辺自治体や航空会社などと協議に入ると報じました。

財団法人の運輸政策研究機構は、第3滑走路について3つの案を示していて、空港南部の芝山町に新たに3500mの滑走路を造る案すらあるのです。

**新たな農地強奪・
住民追い出し許すな!**

地元住民を何らかえりみることなく、計画をあれこれするやり方は、48年前の閣議決定と同じです。

成田空港は、建設にあたって力による農民追い出しをくり返してきま



5月17日付日経新聞に掲載された図。国交省は事業費1200億円、工期4年で「成田に3本目の滑走路」を検討している

した。現在行われている市東孝雄さんの農地取り上げのたくらみは「強制収用」そのものです。都心から70kmの「内陸空港」という致命的欠陥を問わずに、再び強制立ち退きの愚行を行おうというのが「第3滑走路計画」です。

おびただしい数の地元住民を再び強制的に追い出し、農地を奪い、騒音地獄をいっそう拡大する「第3滑走路」の暴挙を許してはなりません。

市東さんの農地裁判に勝利することと、第3滑走路との対決はひとつながりです。控訴審勝利の3万人署名にご協力下さい。

怒りの声をあげ、
計画段階で阻止しよう